

あ あ す TIMES

2018年1月 No.27号
特定非営利活動法人 地域福祉会ああす
〒658-0051
神戸市東灘区住吉本町1丁目24-27
Tel 078-385-0530 fax 078-843-6861
発行責任者 細谷 禮三

あけまして おめでとうございます

旧年中は、生活支援総合事業が本格始動するなか、何よりも利用者の利益を守ることを基本に事業を進め一定の成果を上げることができました。



一方、慢性的な人手不足に加え、ケガや病気で休まれる職員も多く、地域福祉会ああすにとって大変な年でもありました。役職員が力を合わせ、利用者さんに大きな迷惑を掛けることなく、何とか乗り切ることができました。皆様のご奮闘に心から感謝申し上げます。

本年は、医療と介護制度の同時改定の年となります。国は超高齢時代に伴い自然と増加する医療費や介護費用を何とか抑えようと躍起になっており、今回の改定もマイナスとなることが予想されます。また、憲法や平和、人権に関わる課題も問われる年ともなります。役職員が

団結を強め、地域の様々な人たちと力を合わせ、困難を乗り越えていきましょう。

2018年 元旦
理事長 細谷禮三



今年も頑張るんだワン!

成年生まれの職員に今年の抱負を聞いてみました・・・

まずは少しダイエット・・・



今年は年女 年齢は??歳
不況に年齢に負けないぞ!
あけましておめでとうございます。

確か12年前にもそろそろ私もおばさん・・・?とと思っていましたが、今年は本物のおばさん・・・
思えば12年前に、この介護の仕事に出会って、軽い気持ちでヘルパー2級の講習を受けました。今では24時間どっぷりはまってしまっています。抜け出したくても時すでに遅し・・・?

でも、前に進むしかなく、残りの人生(何年あるか判

りませんが)停滞期でいるわけにはいきません。

かりませんが)停滞期でいるわけにはいきません。

ああす灘も低迷が続くわけにはいきません! 気合いを入れて、明るく、元気にヘルパーさん達と乗り切りたいです。まずは少しダイエットしなくちゃ・・・!!

(灘・渡邊順子)

純真な気持ちを持って



新年の抱負の原稿を依頼していただきありがとうございます。言葉ではうまく言えませんが嬉しいことです。細く長くさせていただける利用者様がられるかぎり、頑張っ

て活動していくというのを改めて思います。
純真な気持ちを持って、働き手となって活動していこうと思います。先輩方の一層の指導をしていただけるような行動をします。宜しくお願いいたします。

良い年になるよう頑張ります。(生田北・吉田智子)

丈夫な身体に感謝

2018年72才成年の年女です。元気なつもりでもそれなりにです!! 先日電車の中で小学生のお嬢さんがずっと立ち上がり席を譲



ってくださいました。ちょっとびっくり!!少し複雑な気持ちで有り難う!!72才になが「めでちゃい」です。愛子先生の気持ちがわかりますよ～おかげさまで丈夫な身体に感謝し、大好きな仕事を続けていける幸せに感謝です。旅から貰うエネルギーで次の年女まで元気で頑張るぞ…… (灘・槇野慧子)

還暦なんです！

気がつけば還暦。早いものです。調べてみたら「原点に立ち戻り再出発する」という意味合いがあるそうです。2018年は、自分自身の原点を大いに意識しながら、毎日を暮らしていきたいと思っています。(本部・青柿早苗)



晴天の下1000人が集う

2017 いきいき健康まつり

2017年11月5日(日)東灘区住吉公園に於て2017年健康まつりが開催されました。

晴天にめぐまれ、まさに健康まつり日和のこの日、およそ1000人の参加者で賑わいました。今回は消防署の協力も頂き、日ごろ身近でなかなか見ることがない消防車も出動、ふわふわ遊具、子供のひろば、また健康まつりの名前どおり、健康チェック、救護&相談コーナー HPHコーナーのテントを設け、気軽に健康の事、気になる事でたくさんの方がこられました。



これがきっかけで少しでも身近な、医療を感じただけなら、いいかなと。ステージではバンド演奏、ミニコンサート、沖縄空手、三線演奏、和楽舞によるダンス等満載のプログラムでした。最後に住吉中学校吹奏部による演奏も素晴らしく盛り上がったまま抽選会へと。ワーカーの歓声が上がり今回も無事、健康祭り大成功でした。次回もいろいろ趣向を凝らし開催したいとのことでした。参加出来なかった方も次回は、ぜひとも、ご参加ください。



踊るケアマネ

いきいき健康まつりに出演者として参加！

抜けるような青空のもと「いきいき健康まつり」が開催されました。この度はお楽しみステージに出演者として参加、演舞を披露しました。



私は踊るケアマネです。「和楽舞」というチームに所属しています。メンバーと気持ちよく踊ることができました。

今年はいきいき健康まつりは特に楽しかった。大勢の方が参加してくださり、ステージからの声かけにもお客様が応えてくれて一緒に踊って盛り上がりました。その後のお楽しみ抽選会もドキドキしながら当たらないかと期待しましたが、残念、当たりませんでした。(笑)でも楽しかったです。

気持ちも気分も盛り上がりました。最高でした。青空の公園の中で皆さんと一体になって楽しい時間を共有できたことに感謝です。私は、今後も人に優しい地域を目指して安心した生活ができるように「踊るケアマネ」として地域の皆様を支援していきたいと強く思いました。

(灘・成田伊智子)

あなたは使える？ AED

あゝす全体学習会

2017年10月5日(木)、10月20日(金)、神戸医療研究所3階、東神戸病院リハビリ室で「緊急時の対応・AEDの使い方」について、あゝす全体学習会が開催されました。



10月5日(木)お昼からの学習会では11名が参加。5名と6名のグループに分かれ、講師の実技説明の後、順番に実技指導を受けました。AEDの使い方は知っているけれど、身近な場所のどこにあるのか……？普段から気をつけてみておく事や、緊急対応の必要な方に遭遇した際、まずは周囲の安全確認や感染予防、意識の有無の確認を行った後、周囲の方への声かけ(できるだけ多くの人に集まって



もらう)、119番通報、AEDの確保をお願いするなど、実際に学習会に参加して始めて知ることが沢山ありました。胸骨圧迫も5cm～6cmの深さで圧迫しなければならず、けっこう力が必要で大変だと感じました。AEDを使用する際、ネックレスなどがあれば外す。ペースメーカーを入れておられる場合はAEDのパッドの位置をズラすなど、ただ使用すればよいのではなく、色々なことに気を配らなければいけないことを知りました。いざとなった時に冷静に対応できるか?! 普段から意識しておくことの大切さを学びました。(灘・土橋ひろみ)

やえちゃんちスペシャル パンじいの「チーズフロマージュ」

高齢者の居場所「やえちゃんち」はまもなく4年目に入ります。今年から毎週木曜日の定例日の内、第5木曜日については、野の花サロンの会場全部を使って「やえちゃんち」スペシャルとして開催しています。11月30日は、スペシャルの3回目。今回は「パンじい」として活動している村上が「チーズフロマージュ」のパンを一緒に作って食べる企画でした。

このパンは、かぼちゃとチーズを混ぜ込んだ小ぶりのパンで、おやつにピッタリ、とっても美味しく好評でした。

今回は醗酵に時間もかかる為あらかじめ成型前の1次発酵まで終えたタネを参加者が成型。粉チーズをトッピングして2次発酵・焼きに入りました。

焼いている間に、東神戸病院 HPH 体操で身体をほぐしたり、脳トレゲームで楽しんでいます。支援者の子供さんも途中から参加しゲームのお手伝い、参加の高齢者も子供の参加で大喜びでした。(本部・村上次郎)

みんなで一緒によいしょ〜!



2017年12月16日(土)
ふきあいの郷もちつき大会。
前々日より互助組合員さん

を中心にふきあいの郷全事業所で準備を進め、もちつき開始。地域の方たちと一緒に、「よいしょ〜。よいしょ〜」ケアホーム布引の入居者さんと一緒に「よいしょ〜。よいしょ〜」つきたての餅は、皆で丸めて、大根おろし・きなこ・海苔巻き・砂糖醤油・お汁粉に。毎年、雨か大寒波の中でのもちつき。今年は…すこ〜しだけ寒かったけれど、元気な掛け声で雨雲を吹き飛ばし、準備していたもち米すべて完売!! 2018年もふきあいの郷内のあぁすとして「もちつもたれつ」ワンだふるな1年になりますように。(中央・山口飛鳥)



ルミナリエに 行ってきました☆☆

2017年12月13日、今回初めて一般の方も来られているルミナリエに利用者様をお連れする。神戸開港150年と兵庫県政150周年とのことで、今回の23回目は色鮮やかでとても綺麗でした。

ハートフルには行けなかったですが、屋台が出ていて皆のテンションはあがる。残念ながらお金を持っておらず……来年は買っぞ〜!!

プラス今回は、メリケンパークの世界一大きなツリーも観に行く! が、大渋滞! 村上事務長のおかげで何とか傍までたどり着くが、車椅子では行けず写真だけ撮り、近くでの鑑賞は断念。ですが、参加して下さったお二人は「連れて行ってきて、お土産までついて!」と喜んでいただけました。

アットホームな求人に誘われ、あぁすに入り早4年! 利用者様と桜を見に行ったり、おうちでクリスマスパーティーと、こうなんのイベント担当中心にワイワイ楽しく活動しております。在宅ならではのイベントに皆さんも参加してみませんか☆ (こうなん・前田美奈子)



竜田先生を偲ぶ会 in ああす

2017年11月12日(日)「やえちやんち」において「竜田先生を偲ぶ会in ああす」が17名の参加で行われました。



昼の時間帯でもあり豪華なミニミニ会席風二段弁当も各テーブルに鎮座していた。食事中は、竜田先生の懐かしのアルバム上映もあり、草野球チームのピッチャーで、

勝利投手の経験はあるような無いような・・・

竜田先生の若い頃からの活躍の様子が垣間見れたのではないのでしょうか。

会の後半には、ああすこうなんの名(迷)優たちが、実地指導に向けての竜田先生のご苦労を再現した寸劇を上演しました。涙あり笑いありで、先生が降臨されたような劇になり、奥様にも喜んでいただけたかな？竜田先生の思いを忘れることなく、ああすの発展を願います。合掌(こうなん・中島智代)



「やえちやんち」への参加者が増え地域に根付いてきた等々報告がありました。

経営報告では、事業収入は前年より減らしたものの収支差額が約3百万の黒字になったこと、その要因として訪問介護の件当円で収入確保できた、人件費で超勤手当が減らせた、消耗費の節約等職員の努力に起因するものであるとの報告がありました。

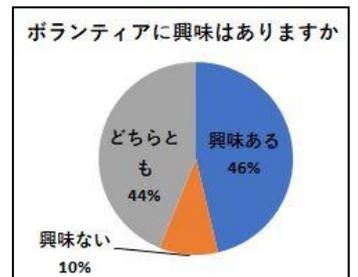


参加者の意見では、介護員が手簿で新規利用者の受入に心えられないもどかしさを感じる、訪問介護は一概に稼働が報酬に結びつかない、身体介護等無理をして従事せざるを得ない、処遇改善手当が職員改善に繋がっているのか、休日手当など見直してほしい等々。全体として、他の介護事業所は赤字経営だと聞いている中、職員の高い意識に支えられた土台があり経営が成り立っているが、いつまでもそういう意識だけで支えていくことができるのか。

今後のああすの運営方針の課題が見えてきた検討会になりました。(監事・中村明)

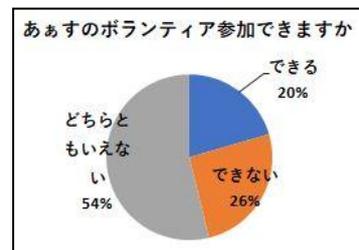
ああすの高齢者支援事業は？

高齢者支援事業をどのように展開するのか。ああすの会員さんをはじめ、職員、退職ヘルパー、ヘルパー養成講座卒業生にアンケートを行い、その結果を受けて、懇談の機会を作りました。



アンケートでは、高齢者支援ボランティアに興味があるとの回答が46%あり、ないとの回答は10%にすぎませんでした。57%の方にボランティア経験があり、その内17%の方が現在も活動されていました。また、回答者の方の20%がああすのボランティア事業への参加を表明していただきました。

記名回答をいただいた方にもう少し具体的なお話をお聞きしたいと12月13日に懇談会を呼びかけたところ、6名の方が集まって下さいました。そこでは、「高齢者の方は皆さん人恋しい」と、居場所に来ていただいたり、訪問での話し相手が喜ばれると、中には実践されている



経験をお話いただきました。プロジェクトの答申としてまとめ理事会などの検討を経て新たな事業の開始を予定します。



地域の要請に応えられる ああすをめざして

2017年度上半期経営検討委員会開く



11月12日(日)9時半から、22名が参加し、現状を出し合いました。

はじめに、上半期の事業報告が藤原介護部長、経営報告が村上事務局長よりありました。事業報告では、介護員の確保では非常勤職員に異動があるも、入所職員、退職者はゼロで、介護員の確保は厳しい状況です。総合支援事業はスムーズに移行、各事業所の管理運営について、管理者の育成強化、サービス提供責任者会議でのあり方の検討、利用者ごとのファイル整備等実務に活用、「やえ